結婚した理由、すごく難しいなと思うのですけど、薄い別に気持ちで大きな部分と、なんていうのでしょう、実用的な部分の二つがあって、一つのその気持ち的な部分っていうのは、やっぱ相手と一緒にいて違和感がなかったっていうところとかその一つの将来が、見えたし、自分とお互い、すごく何でしょう将来のビジョンとか価値観とか、例えば子供が欲しいとかどういう教育をしたいとか、どういう生活スタイルを送っていきたいみたいなところがすごく似ていたのでこの人となら将来一緒にできるなっていうのが気持ち的な面で、実用的な面でいうと法的に結婚しないっていう選択肢もあったのですけど、私の場合は、そのフランス人っていうことと私が日本人っていうことで、ヨーロッパだと、パートナーシップっていうのでも別にビザが私のビザがヨーロッパにするビザが取れたりはするのですけど日本とヨーロッパ人の結婚の場合はそのパートナーシップだと認められてないので特に日本に帰ったときの場合に、旦那が私と結婚してないステータスになっちゃうのですね。なので、すごくそういう実用性ビザとか、今後日本にもし彼が来るっていうなったときの場合を考えてやっぱり結婚はしておいた方がいいっていうことになりました。

これってさっきの多分答えとかぶるのですけどやっぱり同じ人生プランを考えているっていうのはすごく大事かなって思うのと、あとはそれこそ子供が欲しいとかどこに住みたいとかそういうところですね。あとは、やっぱり価値観、お金の使い方やどこにお金をかけたいのかとか。そうですね。そんなところ、人となりももちろん大事なのですけど、すごく抽象的で申し訳ないですけど、そんなおっしゃいますそうですかね。

そうですねやっぱり私が、当時結婚する前は大学院生で仕事も決まってなかったので、お互いに支え合いたいっていう理想はあったのですけど、その彼に頼らざるを得ない環境だったのですね。それでもいいしって言ってくれたのと私が働くことに対してすごく前向きに、押してくれたりしたので、そういうところはありますかね。

もう完全それは、その実用面の方で、フィンランドの大学を卒業したのが12月だったのでその後どこで生活するかっていうのを話し合ったのですね。日本かその彼が仕事をしているベルリンかっていう2択で、ベルリンという相手がなんていうか落ち着いた生活をしている場所に、お互いがやっぱり最初、生活をするなら、どっちかが落ち着いている方がいいだろうなと思ってベルリンに決めたのですけど、そうなった場合、入籍について日本的に言うと入籍をしておかないとビザが大変降りにくい、ややこしい手続きになるので、一緒に住むなら結婚していこうっていう感じで、12月に入籍を済ませておいたっていう感じです。結婚式は、実は来月10月にする予定なので、先に入籍をして、いざというときのために、結婚式はしておこうって感じにしています。

やっぱさっきも言ったのですけど子供が欲しかったので、その結婚相手と出会う前からずっとやっぱり家、子供が欲しいっていうのはあったので、子供を産むとなったらその育てる体力等やっぱり身ごもるときの年齢のリスクは一応あるのですよね。それこそ、卵子凍結ね。凍結とかありますけど、やっぱ自然な形で産むってなったら、お医者さんとかがよく言うのは38までとかっていうのは、人によりけりですけどもちろん、40歳で産んでいる人とかね、いますけど、でも多分体力的にきついなと思って、そうですね。それは、そうする前にそんな子供を追いかけっこできるそうなので、それまでにはって思ったらやっぱ逆算すると、30ぐらいで結婚して、1人か2人ぐらい欲しいなみたいな感じでしたね。

でも本当にそこはすごい悩みどころで私は法政大学を卒業して5年間普通に働いていたのですね。そこからフィンランドに2年間留学っていうのを決意したので、婚期が遅れるなっていうのはあったのですよ。みんな結構周りは27とか、早い人で25とかで結婚していて、もう子供もいたので、遅れるなっていう葛藤はすごくありました。でも、逆に結婚しちゃうと大学院にすごく特に海外だと行きづらいなっていうのがあったので金銭もずっとそうだし、物理的に難しいなっていうのがあったので後悔しないためには、ギリギリ30までならいけるかなと思って、大学院留学を決めて多分しなかったら人生で後悔しちゃうだろうなと思ったので、して、そうですね結婚してやっぱりキャリアについては企業によってはそれをブランクってとる人もいるので大学に出た時期なのですごく難しいなっていうのは正直特にベルリンで就活をしていて思ったところではありますね。でも今は知り合いからお仕事をもらってという感じで始めたので、そこまで後悔はしてないですけど、はい。

どのような場合もそうですよね。親からと、あとやっぱ強いられてはないのですけど、仕事の場で、例えばお客さんとかと普通に雑談をしているときに、何か言い合えていないのとか、例えば何かいつ頃なんだろうな結婚したいのとかっていう話はすごい出てて別にそれは嫌な感じではなかったんで普通の日常会話の一つだなと思ってたんですけど、やっぱ親からは特にうちは保守的な家庭なので、いつ孫が見れるのとか、ずっとですね強いですね、漫画みたいなやつ。そういうのとかもう、もう適当に何か極めて妥協して結婚しちゃうみたいな。なるほど。あと普通に親の会社のなんか結婚なんていうマッチングアプリの会社版みたいな、なんかそういうクラブがあるらしくて、それに親の会社に申し込むか、のようなことを言われて、嫌だよ、みたいな、なんかそんなすごいね。だから、そうですね、すごく強いプレッシャーがありましたね。

そうですねなんか、なんかもうでも、直感的にというのがやっぱりすごい回答にならないんですけどすごい思ったっていうのと、あとそれ以外の理由で言うと働いてた会社がオーストラリアが本社にある会社で家族経営の視点が世界何個かあったんですけど、母体は家族経営なんですけど創始者の人が亡くなっちゃって急に息子さんに会社が引き継がれた途端に結構経営が変わったんですね経営のスタイルが日本支社も社長さんも変わっちゃって、結構やっぱ社員さんの入れ替わりもあったので何か今まで好きで働いてた会社の文化とのことなってきたっていうところがやっぱり大きな後押しになったっていうところとあとはやっぱ新しい自分の力を伸ばしていきたいっていうのがあったの大学院の留学した分野っていうのが教育っていうところなんですけど、あと教育っていう分野をまず知ったときにはこれ自分でもっと深めたいなとか将来のキャリアに繋げたいなって思ったときに、やっぱり院卒とか経済学部っていう、学歴だけじゃなくてやっぱり全く違う分野に行く場合、は院とか何何かしらのそういうものが必要だなと思ったので、決めましたねなので、プライベートというか分野のことと仕事のことっていうのが、やっぱ大きな後押しになりました。

そうですねメリットとしては、やっぱり精神面の支え合いというのはすごく大事というか、ありがたいなっていうのを思いましたね特に私の場合海外に住んでるので、家族友達はいたとしても、家族っていうほど近い人ってやっぱなかなかそんな短期間できるものではないので、そういう相手がいることで海外での生活も落ち着いてできたりとか、すごく楽しいものになったりしたなっていうところもありますし、そうですねデメリットとしてはやっぱり1人結構1人行動できちゃう人なんです。そういうのを何か配慮しなきゃいけないなみたいな。私別に何か今1人の時間でいいんだけど、例えば相手は何か一緒にしたいとか、っていうのがあるとそれに、なるべく合わせるようにはしますし、でも、そうですねなんかそうですね1人の時間が減るっていうのはあるかなっていうのはありますけど、バランスですかね。

さっきの多分回答と全く逆な答えっていうか、そのまんまの答えになると思うんですけど、そうですねやっぱ精神面的にすごくちょっと不安定ではないですけど何かしらやっぱ安定する相手が欲しいなとか、味方にいてくれる人が欲しいなっていうのはあったりとか、あとはそういう相手がいることで、多分私の場合は、あの、人によって違うと思うんですけど。なんか仕事も頑張れたり、勉強も頑張れたりするので、そういう安心、安定感みたいなのは、やっぱり1人のときは少なかったっていうデメリットはあるかなっていうところと、1人で埋めるとやっぱ自由、自分が好きなときに旅行行って、自分が好きな友達とご飯行ってとかあとやっぱお金的にも、自分の稼いだお金は自分のものになるので、それを自分のがどう使ってもいいっていう。

結婚する前はそうですね。５ですかね。とても良い。なんでしょう、やっぱり、生きているほとんどの時間を仕事してきたので。友達とも遊んでたりはしたんですけど、やっぱりそうですね、ほとんどの時間は仕事のことを考えてたりとか仕事準備したり普通に仕事したりとか、仕事の人とご飯行ったりとかもあったんで、そういう意味では結構全力でやってたなっていう感じですね結構前は、はい。

そうですね多分ちょっと、後の質問にも繋がっちゃうかもなんですけど、結婚してから、やっぱプライベートを結構大事にするようになったので、そこまでガツガツやらなくなったっていうところがあって満足度としては別にどっちも変わらないんですけど、やっぱり本気でなんでしょう、やっぱりコミットしてはいないというところで、仕事例えばプライベートで家で料理する時間とかがきちんと休む時間を確保するようになったので、特にフリーランスっていうところもあって、なので、4っていう感じですかね。

もちろんキャリア的にブランクを作りたくないっていうのもあるんですけど、あとはすごくいいご縁というか普通に友達だった人からお仕事をもらって、すごくその人とも気があったので、やってみたいなっていうところと、お仕事が楽しそうだなっていうところが、あったのでね。そうですね仕事内容が良かったとキャリアの穴を埋めたくない、穴を埋めたいっていうところです。

今後は普通に働きたいですね。私のライフプランみたいなお話をすると、今ベルリンにいるんですけど来年ぐらいには日本に帰りたいなと思っていて。普通に企業さんで私をわかんないすけど雇ってくれるっていうとこもあるので、そこで働く、働いてしばらくしたら、自分の会社を建てたいなって思ってます。

そうですね自分がまず仕事でやりたいいことが結構自分が企業に入っちゃうとやりづらい部分があったりするのと、あと自分が今ヨーロッパで築いたコネクションとか、自分がやってきたことっていうのを最大限活かせるのは自分なりのやり方でやった方が、なんて言うんでしょう、やりやすいなっていうのがあったっていうのはあります。

私、元々専業主婦でもいいなって思ったんですよ全然。でも、1回そのベルリンに来てから数ヶ月仕事をしてない時期があったんですね。結婚して仕事をしていわゆる専業主婦。じゃないですか。それをやったときに、すごい気持ちが落ちたんですよ。なんて言ったらいいのかな、何か社会的自分の意義とか、やっぱり今仕事して思うとその人との繋がりとか人に必要されて、自分の提供できる力を提供して対価をもらうっていうことが、私多分必要なんだみたいな。それですごい人生が楽しくなるっていうか。なんかわくわくしますし。だから、やっぱ結婚しても子供を産んでも私は続けていきたいなって思ったっていうのが大きかったです。

お金を稼げれば大賛成って感じですなるほど。そうですね多分どうなんでしょうフランス人だからっていうのもあるかもですし、彼のお母さんも普通にバリバリ働いてる人なので、それが当たり前っていうところと、すごいプライベートの話を言うと、結構財布はもう結構分けてるので自分の好きなものは多分自分で稼いで買わなきゃいけないみたいな感じなんで、結構厳しいですけど。

まあ、いい意味でいうと私は仕事したいので、それをすごい後押ししてくれますし、何でしょう、普通に家事とかもすごい手伝ってくれるので、全然そうですね、賛成って感じです。

理由としては、やっぱりさっきも言ったのと重なるんですけどプライベートと仕事の割合がちょうどいいかなっていう今状態で、仕事も家やりつつ、ちゃんとそのプライベートで何か料理したりきちんと掃除したりとか家のこともちゃんとできるって言って、土日は友達と遊んだり彼と旅行したり、どっか遊び行ったりみたいなのが普通にできるっていうところでなんかバランスがいいっていうのがありましすね。

結構仕事が大部分を占めてたのでプライベートにまで差し込んできてたっていう感じでなんか常に忙しかったですし、それこそ何でしょう、いろんな相手を探してたりしたので、プライベートでそういうなんか不安定さもあったりでも友達とは楽しかったりしたので悪いわけではないんですけど、なんか今ほどすごく心も安定してとかっていうのを、ではないな、なかったかなっていうので良いですかね。

そうですね。美術館に行ったりとか、アーティストと知り合うっていうのがすごい、なんか自然と今ライフワークになっててそれが結局仕事にも繋がっていってるので、なんでしょう仕事とプロなんかプライベートっていう狭間ではあるんですけど、すごいなんかいろんなそういうアーティストだったり、面白い違う考えを持ってる人と知り合うっていうのはすごく楽しいです。

合気道、武道の一つの合気道をやっていたので、それがすごく仕事から離れて全く関係のない場所で、なんかフリーな自分で入れるところだったしあと体動かすっていうので、すごくリフレッシュにもなったので、それはすごい。いい趣味でしたね。あとは友達とドライブ行くのとかでしたかね。はい。

全然ありますね今していない理由としてはそこまでお金に余裕結婚式をちょっと控えてましてお金に余裕がないっていうのがすごいあって、あと大学院の間そんなに稼いでなかったのでっていうところでまとめちゃってますけど、大学院のときは実は合気道はやってて、大学院にすごく珍しいんですけどあって、やってたんですけどやっぱ車はさすがに持ってないので、こっちだと、なのででも、もし例えば日本に帰国して車買うことになったら普通にやりたいですけど、戻りたいっていうか普通にやれるかなって思います。

ストレスはありますねやっぱ好きなものを後安定好きなように変えなかったりとか、それこそ1人だったときは、稼いだ分もう娯楽というか好きな服買ったりとか友達と遊ぶ費用交際費になったりとかしてたんですけどそのストレスはあるんですけど、でもそうですねでもそこまでなんでしょう。

うわーっていうストレスはないのとあとは自分がそんなにものすごく稼いでるわけじゃないので、前ほどなのでしょうがないかみたいなかそういう、何でしょう、節約癖をつけるには良いトレーニングかなみたいな。感じを持ってます。

理由ですよね。はい理由としては、ライフスタイル、そうですねでもライフワークバランスが取れてるっていうのと、さっきと同じ回答になっちゃうんですけど、適度に刺激があるので、とはいえなく結婚しつつも、なんか適度にいろんな人と知り合ったりとか、何か海外に住んでいるっていう特権もあるんですけどいろんな国に旅行に行けたりとか、簡単に行けるのでそういう、何でしょう、刺激もありつつ、やりたいこともしつつ、なのですごくそうですね満足してますね今のスタイルに。なんか忙しくやりすぎたなっていうふうでお金を散財しすぎていたっていう、それがあって、家だからこそ多分今何て言うんでしょうちょっとそれよりのんびりした生活を楽しめてると思うんですよね。多分だけど、そうですね今と比べたらそんな感じ。

元々両親は普通に母親が専業主婦で、父親が稼いでるタイだの家だったので、何か知らない間にたまたま中でそれがスタンダードになっていたので、5も全然ありだなっていう。そのさっき言ったみたいに専業主婦っていうのもありかなっていうのを持っていつつ、でももし相手が相手とか2人の稼ぎのことも全然あると思うんですけど、あれだったら私も仕事好きだしそのときの仕事も好きだったので、仕事も続けてこのまま待ちたいなっていうのはありましたね。でもすごいそれが難しいなっていうのも、わかっていたので子供を持ってる同僚もいたし、それで結構苦労してる人も出てきてたので、難しいなっていうのはわかりつつ、でもそれがいいなっていうのは思ってましたね。

んで、今は多分どっちもちょっと環境にもよると思うんですけど、普通に仕事も子供も持ちたいなって普通に相手とも話して言ってることでもあります。今後も理想のライン、今後なるとしたら、おそらく3人したいなっていう形になりそうですね。

続けない、続けたいっていうのと多分、私の性格上仕事さっき言ったように、してないと楽しくないっていうか、なんか人生楽しくするには仕事も家庭も両方必要だなっていうのがあるので、そうですね３がベストですかね。

なんていうんでしょう、ちょっと恋愛の話になっちゃうかもしれないんですけど、例えば人を始めて、初めましてから結婚に至るまでって結局、一、二年早くて1年必要だと思ってて、なんかその工程をもっかいやれないなって思ったっていうのは、なるほどすごいあって。もちろんそのさっき言ったようなビザとか実用的なもちろんタイミングもあったし、それこそ大学院で私は仕事をしてなかったので、し、アルバイトはしてましたけど、何かなので、結構優雅な時間だったっていうか、もう勉強に忙しくもありつつ豊かだったけど、やっぱ諦めると思わず結婚したかなっていう感じですかねスタイルを別に、結構その仕事をする前までは、ベルリンでそういう主婦みたいなことをやってたのもあってそうですね、友達とかお金の面はちょっと諦めましたけど、なんかそんなに切り替えっていう感じっていうよりかなんか流れでこうなってたっていう感じはあります。

はい。何かその時点で周りに、いや結婚どうすんのみたいな。ことを言われたりと思いましたね。親に言われましたなんだっけなんか、何て言ったそうですね親には結婚をどうするのそんな大学行って仕事見つかるのっていうところを言われて、なので、親も私がその仕事をしたいっていうタイプなのは理解していたので、何かそこら辺どうなるのみたいなっていう心配はすごいされました。でもそこはやっぱり乗り越えて、今現在もなんかもうやるしかないみたいなんでもう、そうですね、IELTSを頑張りビザの取得をしっていうので、もうなんていうんでしょう、親に有無を言わせない状態でもう全部整えて、大学に行ってはずっていうので、もう親が何も言えない、自分も別にもうねそのとき27とかなんで本当に難しい。

何か仕事が楽しかったしわくわくしたのしやっぱりなんでしょう。優先する相手がいなかったりっていうのもあったので、それでな、なんでしょう別にそこまでプライベートを重視しなくても全然仕事も頑張れたなっていう、なんか気持ち的にも体的にも、あったのでっていうところですかね。

へえ、プライベートっていうそうですねもうなんか、それこそ友達付き合いとかの方なっていう部分ですね。はいはいはい。いやこれ難しいな私全部優先的っていうのが正直なところなんですけどその中で1をつけるとしたら、今は結婚生活が多分、その中でもちょい順位は上その次プライベートで仕事って感じですかね。

はいやっぱり、例えばですね、旦那様が、あるかどうかわかんないですけど、すごく全く別の国に転勤になったとか、ちょっと職種があれなのです、わかんないですけどもし転勤になったとかそっちの方に行った方がいいってなった場合はそっちを優先されるのでしょうか？そうですね私がすごく合わない国とかじゃなければ、うん、全然行きますねそこでできることを見つけようかなっていうところはありますしでもその前に多分その転勤がどれだけなんでしょうか大事なものかっていうのはすごく話し合うって、結局そうなるとまた私のキャリアにブランクができる可能性が大きいので、そこはやっぱ話してもう1人でそんだけすごい稼げるならまあいいかなって思いますけど。

そうですね多分、結婚してまだ1年も経ってないので、やっぱりお互いのペースを今は掴んできてはいるんですけど、なんでしょう、つかむまでそして何か安定するまではやっぱ優先していきたいなっていうのはあるのと、あと子供が欲しいっていうのは結構あるので、そのためには、何でしょう私自身も精神的にも体的にもうなんか丈夫でなきゃなっていうところがあるので、何かそういう面で優先しているっていうところはありますかね。